

令和7年度 第1回阿賀野市立図書館協議会

日時：令和8年3月16日 午後3時～午後3時50分まで

出席者

(委員長) 長谷川小百合

(副委員長) 高澤芳子

(委員) 新保英穂、笹川静恵、田中朋子、諏訪田芙未子、加納正子、長谷川みつよ

(教育長) 小泉明美

(事務局) 生涯学習課長 塚野敏之、図書館係長 岩城美千代、図書館係 渡辺めぐみ

議題

- ・令和7年度図書館統計の実績見込み及び事業報告について
- ・令和8年度事業計画（案）について
- ・その他

○生涯学習課長

これより令和7年度阿賀野市立図書館協議会を開催させていただきます。

本日はお忙しい中ご出席いただきまして、大変ありがとうございます。

皆様に始めにお願いがございます。議事録作成のため、この会議を録音させていただきますので、よろしくお願いいたします。また、発言につきましては相互にかぶらないようご協力お願いいたします。

また、この会議は阿賀野市審査会等の会議の公開に関する要綱第2条に該当する協議会となり公開いたします。

公開の方法は傍聴による公開といたしますが、現在傍聴者はありません。

また、議事録につきましても、これにより公開させていただきます。阿賀野市のホームページ等で掲載させていただきますので、よろしくお願います。

それでは初めに教育長からご挨拶を申し上げます。教育長お願いいたします。

○教育長

本日は年度末のご多用の中、第1回阿賀野市立図書館協議会にご参集いただき、誠にありがとうございます。

また、日頃よりそれぞれのお立場から当市の図書館運営並びに読書活動推進のため、ご支援いただいておりますことに心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

さて、本日の議題は2つあります。「令和7年度図書館統計の実績見込み及び事業報告について」と、「令和8年度事業計画（案）について」でございます。市民の皆様により図書館に親んでいただくために、皆様方から様々なご意見を頂戴したいと考えております。

図書館が暮らしや人づくりに必要な資料と情報を提供することによって、ますます多くの人々の生涯学習機会の確保充実に繋がりますよう、慎重なご協議をお願い申し上げます。よろしくお願いいたします。

○生涯学習課長

ありがとうございました。

それでは、早速ではありますが、阿賀野市立図書館協議会規則第2条第3項の規定に基づきまして、委員長に議長をお願いし議事進行についても併せてお願いいたします。

○議長

それでは、会議次第に基づきまして、議題に移ります。

議題（1）令和7年度図書館統計の実績見込み及び事業報告について 事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

（令和7年度図書館統計の実績見込み及び事業報告について説明）

○議長

ありがとうございました。ただ今の議題について質疑、ご意見などありますでしょうか。ありましたら挙手にてお願いいたします。

皆様ないようですので、次に議題（2）令和8年度事業計画（案）について説明をお願いします。

○事務局

（令和8年度事業計画（案）について説明）

○議長

ありがとうございました。それではただ今の議題について質疑、ご意見・ご提言などありましたら挙手にてお願いいたします。

皆様ないようですので、次に（3）その他ということで事務局お願いいたします。

○事務局

（「県と市町村協働による市町村の電子書籍システム共同導入・運営に向けた取組について」進捗状況を報告）

○議長

ありがとうございました。それでは質疑応答、ご意見・ご提言などありましたら挙手にてお願いします。

皆様ないようですので、それではせっかくの機会ですので、委員の皆様から一言ずつお願いいたします。

○A委員

今ほど団体配送サービスということでご紹介いただきまして、本校は1月からお願いしております。子どもたちは喜んで借りている様子であります。貸してもらったコンテナのところに子どもたちが頭を寄せ合って探している様子がありますので、嬉しいなと思っています。

ただ、貸していただいた本がちゃんと戻ってくるかというところを職員としては心配しているのですが、何とか今回2回お借りした本については、きちんと返却することができてよかったなと思っています。

昨日最後のものを返却したのですが、ある2年生の子どもから「来年もこれはあるの？」という質問が図書館担当職員の方にあったということなので、とてもうれしく思っています。

皆さんのご協力に感謝しております。大変ありがとうございます。

○B委員

今、A委員からもお話があった団体貸出について、保育園でも月に1回図書の日がありまして、子どもたちに保育園にある好きな本を貸出するという日を設けているのですが、やはり毎回毎回となると、限度もありますので、ぜひこのような制度があるのでしたら、今度利用させていただきたいなと思って本日聞いておりました。ぜひお願いしたいと思います。

○C委員

私はA小学校の方で読み聞かせをしております、年に2回や3回と少ない回数ではあるのですが、すごく本に興味を示してくれる子と始業前の10分15分なのですが、全く興味のない子はそわそわするなど、個人差がすごくあると感じます。

そういうところで、本当に幼児期から例えば絵本や読書に触れてきた子とあまり触れてこなかった子というのは、今の時代もあるとは思いますが、そういうところでちょっとずつ個人差が出てくるのかなと感じる部分があります。

ただそういうものって、地域でどうにかしようということはなかなか難しく、家庭の中だったり、いろいろな子どもに対する働きかけというのを考えていく中で、こういった図書館協議会の中でも何か考えていくような機会があればいいかなと思いました。

また、昨年度から今年度を比較すると貸出の実績がすごく減っているということにも繋がっているのかなと思いましたので、子どもたちが読書をするような働きかけができていったらいいのではないかなと思っています。

○D委員

うちには今2人の子どもがいて、上の子は小学生で下の子はまだ保育園なのですが、1人目の子が小学生になって、ずっと続けてきた読み聞かせの力が出たのかなと思ったことがありました。それは国語がものすごく得意で、最初からできる子は教科書を指でなぞらないで読んでみてくださいと言われて、普通にうちの子は最初からなぞらずに読めたので、そういうのはもしかすると小さい頃から読み聞かせをやってきた成果なのかなということ感じました。

本当に言われたことをきちんとやっていてよかったなってすごく実感したので、うちの子の友達は図書館が大好きで、皆さん行かれていますのですが、他のママたちともそういう話をどんどんして行って、「みんな本読もうね」と言っていきたいなと思いました。

本当にそのための環境を整えていただいている図書館に本当に感謝しています。ありがとうございます。

○E委員

私は図書館の本を借りるばかりで、皆さんのように子どもがいるとか、ボランティアで何かやっているとかはなくて、ただこのような環境があって感謝しているばかりなのですが、何か協力できるようなことがありましたら、今は読み聞かせボランティアだけだと思うのですが、図書館ボランティアなどの動きがあれば、協力させていただきたいと思いますので、お声がけください。

○F委員

私もE委員と一緒に借りるばかりで、何の手伝いもできていないのですが、うちにも子どもや小さい子もいないので、今の子どもの状態がよくわからないのですが、よくテレビとかで聞くと読解力の低下が今問題視されているようです。

日頃、家でお母さんたちが子どもに読み聞かせをするというのはすごくいいようで、それが親と子のコミュニケーションになっているそうです。今の子どもたちはやはりLINEやSNSでコミュニケーションをとっているようで、人と人とのコミュニケーションが苦手になっていくと言われています。そういうところで読み聞かせというのはすごく大切だなと思いました。

図書館の事業にも読み聞かせの事業がたくさんあるので、すごくいいことだなと思いました。

○副委員長

私は資料2事業報告の中でキッズウィークの企画展示「ことばであそぼう！」がありますが、このテーマで館内を装飾と書いてあり、実際に私も参加したいテーマだったのですけれども、どのような装飾をしたのかをお聞きしたいのと、そのテーマは今年の計画にはないのでしょうか。

○事務局

そうですね。今年は別なテーマを予定しております。

○副委員長

私は子育て支援センターで活動しておりまして、今日の午前中も活動してきました。2歳・3歳の大きい子は早くに保育園や幼稚園に行ってしまうので、1歳前後の小さい子しか来ないのですが、そんな小さな子たちでも、すごく「言葉」や「音」に反応して、面白く感じているのだと思います。

ですので、今年のテーマにはないのかもしれませんが、例えば谷川俊太郎さんや元永定正さんの絵本はすごく音と言葉を大きく取り上げていて、面白みをすごく感じるので、「おはなしのじかん」に取り入れてほしいと思います。

赤ちゃんたちは何かすると「ふっ」と反応します。だからそういうことを大事にしてほしいなと思いました。

それから、昨年の事業の中でジャンボかるた大会に関連することなのですが、町内の福祉健康部というところでお年寄りの方と一緒に「ジャンボかるた」をやったのですが、阿賀野市のジャンボかるたはとても面白くて、阿賀野市のいろいろな地域のものがかるたになっているので、新しい発見もあるし、自分の住んでいる地域に興味を持つことにもなり、ジャンボかるたはいいものだなととても思いました。

○議長

せっかくですので、私も意見ではないのですが、今までB小学校でずっと読み聞かせボランティアを朝読書の時間にさせてもらっていました。先生の方から来年度朝の時間が取れないので、昼の時間にと言われました。

時間が変わることによりやり方も変わるのかなと思っていたのですが、学校側から今までと同じように、時間帯は昼休みにはなるのですが、15分の時間を取って各教室に入って読み聞かせをやらせていただけるということで、環境は少し変わりますが、長く継続していたことが無駄にならないようにこれからも続けていきたいなど今思っているところです。

先ほどC委員がおっしゃっていたのですが、読み聞かせの時に落ち着いて聞かない子もいるのですが、B小学校の場合は、私たちも20年ぐらやっているからなのか、本当によく聞いてくれます。私たちがびっくりするくらい。聞く態勢がきちんをとれていて、それはやはり1年生の時から毎月毎月、朝読書、毎月1回必ず聞くというのが、子どもたちの中で、ちゃんと養われているというか、植え付けられているというか、ちゃんと育てているのだなと思って、私たちもすごく読みやすいですし、私たち自身がすごく喜んで読んでいるというのは、本当に学校側の協力のおかげだと思っています。

他の学校でも少し無理かなと思うところはあるのですが、子どもたちの図書離れを防ぐには、まずこのような小さな一歩、この10分・15分取れないのはわかるのですが、何とか月1回、半年に1回とか、ちょっとこう地道に積み重ねていくことが大切かなと思います。

○事務局

ありがとうございます。

○議長

皆様からいろいろご提言がありました。

事務局には、このことを踏まえて、事業の推進をお願いしたいと思います。

議題としてはこれで終了しました。会議の進行にご協力いただきまして、大変ありがとうございました。

○生涯学習課長

ありがとうございました。

本当に皆様の方から貴重なご意見を頂戴いたしました。この意見を大切に、今後の図書館事業等を進めて参りたいと考えております。

報告や計画にもありましたが、いろいろなところで阿賀野市の建物の方も老朽化しております。図書館は意外と綺麗な館内ですけれども、いざ中身を見てみると、いろいろなところでやはり年数を感じています。

近々図書館も30周年が見えてきましたので、そのような事業も今後考えていければなど内部の方では話をしておりました。

それでは、これで令和7年度の第1回阿賀野市立図書館協議会を閉会いたします。

本日は誠にありがとうございました。

○事務局

ありがとうございました。